特集

再発見！

地域のお宝

皆瀬地域 女滝沢 編

当たり前に知っていたモノ・コトが、

実は知る人ぞ知る「ゆざわ」ならではの魅力、

「地域のお宝」であることも。

女滝沢森林浴歩道

小安峡に流れ落ちる「女滝」へと続く清流「女滝沢」。その周辺にはブナなどの原生林が広がり、女滝沢森林浴歩道として整備されています。ヤチダモの巨木やブナの奇形木など、見ごたえのある木々のほか、さまざまな山野草を見ることができ、トレッキングをしながら森林浴を満喫することができます。

※歩道が整備されていますが、ガイドの同行を推奨しています。詳しくは市ホームページをご覧ください。

▲市ホームページ

まずはおさえておきたい 樹木三選

- **A** 幹回りの大きさが全国第４位を誇るヤチダモの巨木。
- **B** ２本の樹木の枝、または１本の樹木の一旦分かれた枝が癒着。
- **C** 切った部分から脇芽が生まれ成木になったり、切った枝の部分が変形しながら成木になったブナの奇形木。

特集 再発見！ 地域のお宝

森で出会えるフシギたち

女滝沢一帯に生息するフシギな動植物たち。四季折々にその顔ぶれや表情が変わります。

あなたは森の「フシギ」たちに出会ったことがありますか。

アカスジキンカメムシの幼虫。幼虫期は黒色で、白い筋が特徴的。成虫になると、光沢のある緑色になり、白い筋から美しい赤い線になる。他のカメムシとは違い、ほとんど臭いを出さない。

オクトリカブト。とても目立つ美しい色で昆虫を呼び寄せる。ガクや花の形は、虫を奥へと誘導し受粉するための通り道を作っている。全体に猛毒を持つ毒草としても知られる。

ヤマジノホトトギス。紫色の斑紋は、外側の花びらの下部に蜜がたまっていることを虫に知らせる蜜標。花を訪れた虫の背に上の雄しべ雌しべが触れて、受粉する。

マムシグサ（実）。茎の色や姿がマムシに似ていることが名前の由来だといわれている。雄株と雌株があるが、栄養状態の変化により性転換する。全体に毒を持つ植物。

ギンリョウソウ。光合成をせず、菌類に寄生する植物。真っ白な色やその形からユウレイタケとも呼ばれる。果実化した姿は「ゲゲゲの鬼太郎」の目玉のおやじに似ている。

水源かん養保安林としての女滝沢

女滝沢国有林は、洪水の緩和、水質保全などを目的に整備し、森林資源の活用にも配慮する森林「水源かん養保安林」に指定されています。古くから取水源として地域の生活に深く関係しており、また、土砂災害を防ぐために伐採が制限されています。間伐などの結果、生まれた「ブナの奇形木（あがりこ）」などは、人が森と共に生きてきたことを感じさせてくれます。

女滝沢は、水を育み、土砂崩れなどの災害を防ぎ、美しい景観や心の安らぎや潤いを与えるなどの役割を果たしているのです。

秋には、さまざまな木々が織りなす鮮やかな紅葉を楽しむことができます。

森のフシギが詰まった、魅力の宝庫

Interview

森っこ倶楽部
山内（やまうち） 今日子（きょうこ）さん

初めて女滝沢を訪れたのは15年ほど前でした。自分が住んでいるところにこんな場所があったんだと感激しました。静かで、空気が澄み、木の香りが漂い、川のせせらぎが聞こえる空間は神秘的な別世界で、自分が自然の一部になれる気がします。

森は、季節ごと、四季折々の変化を五感で楽しむことができます。春は清々しく美しい新緑の空気を感じ、小さな可愛らしい花々を愛でる。秋は色鮮やかな広葉樹の紅葉が広がり、落葉や木の実を拾ったり、ホコリタケの胞子を飛ばして遊ぶ。女滝沢は訪れるたびに見せる表情が異なり、「ディズニーランドよりも楽しい」と私はいつも感じています。

森っこ倶楽部の活動スケジュール

◇ 親子で発見！秋の七変化 in 女滝沢　10月15日(日)
◇ 女性のための女滝沢トレッキング　11月 3 日(金)(祝)

申込み・問合せはこちらから▶

森っこ倶楽部

未来をつくる子どもたちに豊かな自然を体験してもらいたいと、小安峡・女滝沢を主な活動フィールドに、年に数回、自然体験会を企画。

再発見！ 地域のお宝

自然、歴史、文化などその地域ならではのさまざまな魅力。

あなたの身近にあるものも、実は「地域のお宝」ではありませんか？